

科目名 Subject	美しいコミュニケーション Thoughtful Communication			教員名	名越 涼	
開講年次	2	開講時期	前期	単位	1単位	
必修／選択	選択	授業形態	演習	時間	30時間	
実践的教育	○					
主な学習効果	知識・技能	主体的行動力	課題解決能力	多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	美しく生きる力を実践できる能力
		○	○	◎	○	
科目の概要	<p>コミュニケーションは身近な人間関係を良好にするだけではなく、社会において自身の目標を達成したり、多様な価値観や考え方を理解したり、世界中の人と協働するのに必要なスキルです。イントロダクションとしてコミュニケーションの目的や意味、重要性を知り、「美しいコミュニケーション」を実践するための基礎を学びます。</p> <p>その後、「自己理解」「他者理解」「異文化理解」の3つのカテゴリーに分け、それぞれを深掘りしていきます。</p> <p>「自己理解」では自分のアイデンティティを認識し、社会や自分の状況を把握し、目的に合った目標を達成するため自ら行動することができる力を養います。</p> <p>「他者理解」では自分とは異なる価値観や考え方、経験を持つ人達を理解し、尊重することを学び、あらゆる場面でコミュニケーションをとることができる力を養います。</p> <p>「異文化理解」では、「他者理解」で学んだことを軸に、国や地域の違う人達の社会的・文化的背景を理解し、尊重することを学び、世界中の人達と協働できる力を養います。</p> <p>また、専門知識を持ったゲストスピーカーが登場する回では、それぞれの知識や経験の話からコミュニケーションを多角的に学びます。</p> <p>ゲストスピーカーの登場する内容は以下の通りです。</p> <p>WWDJAPANのSNS担当者からはSNSの発信を通じた自己表現とSNSでのコミュニケーションを学びます。</p> <p>立川流の落語家・立川志の春さんからは会話の広げ方やコミュニケーションを優しくする話術を学びます。</p> <p>移住情報誌「TURNS」のプロデューサーからは自分と異なる価値観を持った人たちとの接し方や相手を尊重するコミュニケーションを学びます。</p> <p>WWDJAPANの編集長からは2040年の美容業の未来から、社会で自分がどのように活躍したいのかという社会コミュニケーションを学びます。</p>					
授業方法	基本的にはオンライン授業ですが、ワークショップを実施する際は対面授業とします。対面授業の回は事前にお伝えします。					
授業の目標	<p>コミュニケーションの目的や意味、重要性を理解します。</p> <p>その上で自分のアイデンティティを理解し、認知し、主体的に行動できる力と課題を解説できる能力を身につけます。また、他者を理解し、受け入れる能力を養い、どの場面においても建設的なコミュニケーションをとることができるようになります。さらに、異文化・異業種など自分とは違う多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力を養うことで、出会う人の数だけチャンスを広げられる力を身につけます。</p>					
時間外学習 (予習・復習)	<p>下記それぞれの項目で各回に必要な情報を30分予習し、授業で学んだポイントを30分で復習する時間を設けます。また、各項目最後の授業後は振り返りのレポートを400文字程度、60分で纏めます。</p> <p>①「私」を理解する 自分への60の質問をはじめ、内面と外面から自分を紐解くことで授業内でたくさんの気づきを得ることができます。</p> <p>②「あなた」を理解する 自身の身の回りで起きている出来事をコミュニケーションの観点から改めて見つめ直し、何気ない会話からその重要性や意味を考えながら授業に臨むことができます。</p> <p>③異文化コミュニケーション 他地域について調べることや、ファッションを通して歴史を振り返ることで授業の内容をより深く学ぶことができます。</p>					
教科書・教材	教科書		教員独自制作資料の配布・映像等			
	教材		なし			
	使用設備・備品		PC／プロジェクター／DVD再生			
	参考文献		なし			
評価方法	授業参加意欲30％、レポート40％、プレゼンテーション30％					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法	ミニ課題については次回授業時に総括コメントを返します。					
	ワークショップでは意見や気づきを全員でシェアします。					
履修上の注意	自分や他者の可能性に制限をかけず、積極的に楽しみながら授業に参加することをグランドルールとします。					
本科目履修と関連する資格	資格名	なし				

授業計画			
	授業内容	到達目標	時間外学習・備考
第1回	オリエンテーション～教員の自己紹介、授業の進め方、グラドルルール、ゴールの共有と目標を知る	授業の全体を理解し、15回の授業の展開を予測し、美しいコミュニケーションの重要性が分かる	復習として自分にとって美しいコミュニケーションとは何か、どんなことを学びたいかノートに纏める(30分) 予習としてなぜコミュニケーションが必要なのかを纏める(30分)
第2回	コミュニケーションとは何か～「コミュニケーション」を分解して解説。目的・意味・大切さを学ぶ	コミュニケーションとはどういう目的があり、なぜ必要なのかを述べることができる。	授業で習ったポイントを復習しノートに纏める(30分) 3回目の予習として事前に配布する「60の質問」に答え、発表の準備をする(30分)
第3回	①「私」を理解する 「私って何者？」 60の質問で自分の芯を発掘、グループワークで発表する	「私」の歴史を紐解き、自分の取り扱い説明書を作成することで自分自身を多様な切り口で理解し、述べるができる	授業で習ったポイントを復習しノートに纏める(30分) 予習として、好きなインスタグラマーを調べどんなところが好きなのかを纏める(30分)
第4回	②「私」を理解する WWD JAPANのSNS担当者からSNSの発信を通した自己表現とコミュニケーションを学ぶ	普段何気なくしているファッションやメイク等から自分の表現したいことを意識し、発信できるようになる	授業で習ったポイントを復習しノートに纏める(30分) 予習として、話し方や声が好きな芸能人を調べ、どんなところが好きなのかを纏める。また、自己紹介を録音してくる(30分)
第5回	③「私」を理解する “伝える”ということの目的と意味、大切さを解説。“伝わる声”を磨くワークショップも実施する	伝える時に何が重要なのかを述べるができる。また、伝わりやすい声の基礎の練習を実施することができる	授業で習ったポイントを復習しノートに纏める(30分) 予習としてコミュニケーションをとるときに在りたい自分の姿を纏める(30分)
第6回	④「私」を理解する インプロ(即興演劇)を通したグループワークで新たな自分の可能性を探る	コミュニケーションをとる時の自己表現力を高めることができる	復習として、①～⑤で学んだことの振り返りを400文字程度のレポートで提出する(60分)
第7回	①「あなた」を理解する 会話をすることの目的と意味、大切さを解説。グループワークで「他己紹介」も実施する	会話をする時に何が大切なのかを述べるができる。また、相手の魅力を考え、会話を工夫することができる	予習として、会話する意味を考え纏めてくる(30分) 授業で習ったポイントを復習しノートに纏める(30分)
第8回	②「あなた」を理解する 立川流落語家・立川志の春さんから会話を広げる・優しくする話術やマインドを学ぶ	会話の中で相手の良さや可能性を引き出すポイントを学び、会話を工夫することができる	予習として、コミュニケーションをとる時に気をつけていることをまとめてくる(30分) 授業で習ったポイントを復習し、ノートに纏める(30分)
第9回	③「あなた」を理解する ポジティブな人間関係のための心理学を学ぶ～IメッセージとYOUメッセージ～	相手とより良い関係を築くための考え方や心の持ちようを学び、建設的なコミュニケーションをとることができる	予習として、自身の喧嘩のパターンや思考のパターンを纏めてくる(30分) 授業で習ったポイントを復習しノートに纏める(30分)
第10回	④「あなた」を理解する ひとりの人間の持つたくさんの顔を理解する優しいコミュニケーションを学ぶ	相手の持つ様々な背景や思いを理解し、相手の立場を想像してコミュニケーションをとることができる	予習として、自身の関わる人の立場ごとの顔を纏めてくる(30分) 授業で習ったポイントを復習しノートに纏める(30分)
第11回	⑤「あなた」を理解する あらゆるシーンで紐解くコミュニケーションの受け取り方を理解する	同じシーンや言葉でも受け取り方が様々あることを学び、相手の言葉の背景を考え受容することができる	復習として、①～⑤で学んだことの振り返りを400文字程度のレポートで提出する(60分)
第12回	①異文化コミュニケーション 移住情報誌「TURNS」プロデューサーから多様な働き方×生き方×地域とこれからのコミュニケーションを学ぶ	自分とは異なる価値観や文化を持つ人達の考えを学び、相手を尊重するコミュニケーションを実践できる	予習として、他地域で活躍している同世代を調べてくる(30分) 授業で習ったポイントを復習し、ノートに纏める(30分)
第13回	②異文化コミュニケーション WWD JAPAN村上要編集長から2040年の美容業界と社会コミュニケーションについて学ぶ	2040年、美容業界がどう進化しているのかを学び、自分が何を社会で表現したいかを考え実践できる	予習として2040年の美容業界がどうなっているか考えてくる(30分) 復習として2040年にどんな自分でいたいかな纏める(30分)
第14回	③異文化コミュニケーション 海外と日本の文化の違いを知りコミュニケーションの在り方を理解する	世界の常識と日本の常識の違いを知り他国のアイデンティティや背景を理解したコミュニケーションが実践できる	復習として、①～③で学んだことの振り返りを400時程度のレポートで提出する(60分)
第15回	これまでのまとめと、相手と自分の7つの武器を見つけるワークショップを実施する	自己理解・他者理解・異文化理解の大切さを理解し、自ら積極的にコミュニケーションをとることができる	復習として、これまでの授業で学んだことの振り返りを400文字程度でレポート作成(60分)